

全国なわとびスピードコンテスト 2019 【共通ルール】

◇開始・終了の合図

①開始の合図は次のように流れる。

「JJRP Jump Rope Speed Contest, Judges Ready, Skippers Ready, Set (静止) Go」

②「Go」という音声の流れたら競技開始の合図とする。

③終了の音声は次のように流れる。

20秒経過した時点で「Ten」25秒経過した時点で「Five、Four、Three、Two、One」とアナウンスが流れる。

④30秒経過を知らせるブザー音が鳴ったら競技終了の合図とする。

◇静止について

全種目共通で「Set」から「Go」までの間はロープ、選手共に静止をする。

◇審査

- ロープを跳んだ足が床に着地した瞬間を1回と数え、30秒間での跳んだ回数（以下「跳躍回数」と言う）を計測する。
- 跳躍回数が同数の場合で、決勝進出者を決めなければならない場合は、決勝進出者決定戦を行う。

◇競技エリア

- 競技エリアを、シングルとダブルは3m×5m、エイトは6m×14mとし、選手はこの競技エリア内で競技をしなければならない。
- 競技エリアに入っているかの判定に関しては、競技エリア線上はエリア内に入っていると、片足が完全にエリアの外に出た場合はエリア外として判定される。（チーム種目では1名でもエリアの外に出た段階でエリア外と判定する）
- 競技エリアから外れた場合は、フライングと同様のペナルティを適用する。（以下フライング参照）

◇フライング

- フライングの判定
専用アナウンスの「Set」から「Go」の間にロープ、選手共に動いた場合はフライングとする。
「Set」より前のアナウンスでは、動いてもフライングと判定されない。
- フライングによるペナルティ
フライングをした競技者がいた場合でも競技を続行する。
競技終了後、種目ごとに決められている回数を跳躍回数から減らす。
シングル・ダブル：-10回 エイト：-5回
総合はフライングをした種目の決められている回数を合計回数から減らす。
フライングの有無については測定結果の記載される箇所に分かりやすく記載される。

◇重複エントリーについて

違う種目でエントリーは可能だが、同じ種目で同一人物の重複エントリーは禁止とする。
（例：ダブルで1名の選手が2チームにわたり大会にエントリーすること）